

序 説

昭和大学横浜市北部病院消化器センター 工藤 進英

1. FIT 開発の歴史と現状

(1)

青森県立中央病院消化器内科 斎藤 博

(2) FIT 判定のとらえ方と取り扱い

福井県健康管理協会県民健康センター 松田 一夫

2. 大腸癌検診, FIT の有効性と落とし穴

国立がん研究センター中央病院検診センター 関口 正宇

3. FIT 陰性者に対する内視鏡検診のすすめ

栃木県立がんセンター消化器内科 小林 望

4. FIT 陰性癌, FIT 陽性癌の特徴

昭和大学横浜市北部病院消化器センター 若村 邦彦

5. FIT 陽性癌 vs FIT 陰性癌

(1) 一般検診の立場から

済生会熊本病院予防医療センター 満崎 克彦

(2) 大腸がん検診 study の立場から

静岡県立静岡がんセンター内視鏡科 堀田 欣一

(3) 内視鏡の立場から

国立がん研究センター中央病院検診センター 松田 尚久

6. FIT 陰性癌の症例

秋田赤十字病院消化器病センター 松下 弘雄

久留米大学医学部消化器病センター 鶴田 修

コラム

① FIT を陰性になるまで繰り返してよいのか? 昭和大学横浜市北部病院消化器センター 若村 邦彦

② FIT vs 便中 DNA 検査 川崎医科大学臨床腫瘍学教室 永坂 岳司

③ Akita Trial の紹介 福島赤十字病院内科・消化器内科 児玉 健太

■ TOPICS ■

Surveillance colonoscopy for ulcerative colitis-associated colorectal cancer offers better overall survival in real-world surgically resected cases

東京大学医学部腫瘍外科 畑 啓介

The microbial composition of bacteroidetes species in ulcerative colitis is effectively improved by combination therapy with fecal microbiota transplantation and antibiotics

順天堂大学医学部消化器内科 石川 大

===== 前号のご案内(『INTESTINE』Vol. 23 No. 3) =====

早期大腸癌内視鏡治療後の転移再発と予後

大腸癌治療ガイドラインから見た早期大腸癌の内視鏡治療適応と大腸 T1 癌のリンパ節転移リスクの層別化／早期大腸癌内視鏡治療後の転移再発と予後の実態〔隆起型早期大腸癌／表面型早期大腸癌／LST／局在別の特徴／追加外科手術の意義と限界／内視鏡治療後経過観察し再発した大腸 T1(SM)癌の転帰・予後〕／先行する内視鏡治療は追加手術後の予後に影響するか? (大腸 T1 癌において先行する内視鏡切除が追加外科手術後の予後に与える影響／予後に影響させないための注意点)／内視鏡治療後の至適サーベイランスについて／症例

INTESTINE ●特集のご案内

Vol. 23 No. 1 大腸内分泌細胞腫瘍—WHO の考え方と日本の考え方

No. 2 腸管感染症

No. 3 早期大腸癌内視鏡治療後の転移再発と予後

No. 4 原因不明消化管出血(OGIB)

No. 5 FIT 陰性癌の特徴

No. 6 全身性疾患における腸管病変—腸管バーチエット病とその鑑別疾患